

見たこの宏大な遺跡が、公式に我々の考古學的領域へ入つたのに對して、唯熱誠に敬意を表するの他なかつたのである。然し同時に、此の新條約の結果は、フランスに重且つ大なる責任を負はせた事にもなり、此の事あつて以來、唯此の遺跡が荒廢に歸するといつてのみは居られず、少くとも、當時遺つて居たものの保存に努めねばならなかつたのである。シヤム人が無關心であつた責を慨するのでは致方がないので、幾百年の間手をつけずにあつた爲に受けた甚だしい損傷の修理には、費用の如何を問はず之を急ぐか、少くとも、出來得る限りの方法を講じて緩和を計らねばならなかつたが、之は容易な事でもなく、又急速に出来るものでもなかつた。而も躊躇すべきではなかつたので、我々は、アジアに於ける考古學上の驚異の一に對して、世界に對つて責任を負ふ事となり、唯最善の努力を盡すのみとなつたので、フランス極東學院の考古學部は、バルマンティエ *Parmentier* 氏を主監として、アンコール遺跡の科學的研究をなすと共に、其の保存を遺憾なからしめる様、直ちに此の事業に着手するに至つたのである。